

## 施工状況等報告書

2020 年 10 月 30 日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久市長 柳田 清二 様  
小諸市長 小泉 俊博 様  
御代田町長 小園 拓志 様  
軽井沢町長 藤巻 進 様

所在地 長野県佐久市中込 3056 番地佐久市役所内  
名称 佐久市・北佐久郡環境施設組合  
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

### 記

対象事業の名称	新クリーンセンター建設事業
報告対象期間	2020 年 7 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日まで
環境の保全のための措置	詳細は別紙添付資料のとおり
対象事業の実施状況	建設地では、施設本体建設工事が行われている。また、施設の試運転を開始した。 <b>【施設本体建設工事】</b> 各工区とも仕上げ・まとめ作業を随時行っています。計量棟、洗車棟、車庫棟の工事が概ね終了し、構内道路の舗装等の各種外構工事を行っています。 <b>【試運転】</b> 令和 2 年 8 月 3 日に安全な焼却運転を祈願する「火入れ式」を執り行い、8 月 17 日からごみの一部搬入を開始、8 月 26 日から第 1 期焼却運転を開始しました。9 月 8 日から炉を停止させて各所点検を行い、9 月 14 日から第 2 期焼却運転を開始しています。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。



# 施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間: 2020年7月1日～2020年9月30日

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植 物	ヤ エ ガ ワ カ ン バ	成 木 の 移 植	7月22日に平成27年4月18日移植個体の生育確認及び管理 移植した成木及び幼木の周辺の草刈りを実施した。	写真ヤエ- 1, 2, 3, 4
			9月9日に平成27年4月18日移植個体の生育確認（樹木活力度調査） 及び管理 全体的に葉の量は多いが、No. 4の枝は枯れ、No. 1の枝も枯れてきて いる。枝先端部に発生しているキノコについては、No. 4の枝はキノ コ自体が朽ちているように見える。他の枝のキノコにはあまり変化 は見られない。	写真ヤエ- 5, 6, 7, 8
		種 子 の 保 存 及 び 播 種 、 育 苗	7月16日に播種個体の生育確認及び管理 1) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植したNo. ③及びNo. ⑦並び に令和2年5月11日にシラカンバの可能性が高いNo. ⑤の苗木に変わ り新たに移植したヤエガワカンバNo. ④の3個体は樹高58～207cm、 根元直径12～25mmで、樹高が伸び、根元直径も太くなり、十分に展 葉した。 2) 平成28年4月18日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高45.5cm、根元直径13mm。十分に展葉した。葉の形 状からシラカンバの可能性が高い。 3) 平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高41cm、根元直径14mm。十分に展葉した。葉の形 状からシラカンバの可能性が高い。 4) 平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理 ポット30個で育苗中の幼木は現在135本。樹高は25～39cm、根元 直径は2～5mm。樹高が伸び、十分に展葉した。	写真ヤエ- 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15
			8月7日に播種個体の生育確認及び管理 1) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 事業実施区域内に移植したNo. ③、No. ④、No. ⑦の3個体は樹高69～ 220cm、根元直径12～26mmで、樹高が伸び、根元直径も太くなった。 生育状況に異常は見られない。 2) 平成28年4月18日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高45.5cm、根元直径13mm。下部の葉が黄葉した。葉 の形状からシラカンバの可能性が高い。 3) 平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高41cm、根元直径14mm。生育状況に異常は見られ ない。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 4) 平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理 ポット30個で育苗中の幼木は現在135本。樹高は26～42cm、根元 直径は3～5mm。樹高が伸び、根元直径も太くなった。生育状況に異 常は見られない。	写真ヤエ- 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22
			9月9日に播種個体の生育確認及び管理 1) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 事業実施区域内に移植したNo. ③、No. ④、No. ⑦の3個体は樹高77～ 230cm、根元直径12～26mmで、樹高が伸び、根元直径も太くなった。 生育状況に異常は見られない。 2) 平成28年4月18日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高45.5cm、根元直径13mm。 下部の葉は落葉し、一部の葉が枯れ始めている。葉の形状からシラ カンバの可能性が高い。 3) 平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高41cm、根元直径14mm。 生育状況に異常は見られない。葉の形状からシラカンバの可能性 が高い。 4) 平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理 ポット30個で育苗中の幼木は現在133本。 樹高は26～42.5cm、根元直径は3～5mm。樹高が伸び、根元直径も 太くなった。生育状況に異常は見られない。	写真ヤエ- 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植物	オニヒヨウタンボク	成木の移植	7月22日に平成27年4月20日移植個体(No. 1~No. 8)の生育確認及び管理 移植した成木周辺の草刈りを実施した。	写真オニ-1, 2
			9月9日に平成27年4月20日移植個体(No. 1~No. 8)の生育確認(樹木活力度調査) 一部の葉にカビと虫食いが認められるが、全体に生育は良く冬芽形成。個体No. 7にはフジの蔓が巻き付いていたため除去した。	写真オニ-3, 4, 5, 6
		種子の保存及び播種、育苗	7月16日に播種個体の生育確認 1)平成29年6月29日播種個体の生育確認 No. ③は樹高7cm、根元直径3mmで展葉した。 2)平成29年3月14日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) No. ⑰は樹高25cm、根元直径6mmで展葉した。実が2個あり。 3)平成31年3月8日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) 個体No. ②は樹高17cm、根元直径6mmで展葉した。 個体No. ⑫は樹高19cm、根元直径4mmで展葉した。 個体No. ⑭は樹高20cm、根元直径5mmで展葉した。 4)令和2年3月11日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) 鹿沼土に挿し木した10本中1本に展葉あり。 赤玉土へ挿し木した10本中2本に展葉あり。 移植地土壤に挿し木した10本は展葉していない。	写真オニ-7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14
			8月7日に播種個体の生育確認 1)平成29年6月29日播種個体の生育確認 No. ③は樹高7cm、根元直径3mm。生育状況に異常は見られない。 2)平成29年3月14日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) No. ⑰は樹高25cm、根元直径6mm。生育状況に異常は見られない。 3)平成31年3月8日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) 個体No. ②は樹高18cm、根元直径6mmで樹高が伸びた。生育状況に異常は見られない。 個体No. ⑫は樹高19cm、根元直径4mm。生育状況に異常は見られない。 個体No. ⑭は樹高20cm、根元直径5mm。生育状況に異常は見られない。 4)令和2年3月11日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) 鹿沼土に挿し木した10本中1本に展葉あり。 赤玉土へ挿し木した10本中2本に展葉あり。 移植地土壤に挿し木した10本は展葉していない。	写真オニ-15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22
			9月9日に播種個体の生育確認 1)平成29年6月29日播種個体の生育確認 No. ③は樹高7cm、根元直径3mm。生育状況に異常は見られない。 2)平成29年3月14日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) No. ⑰は樹高25cm、根元直径6mm。生育状況に異常は見られない。 3)平成31年3月8日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) 個体No. ②は樹高18cm、根元直径6mm。生育状況に異常は見られない。 個体No. ⑫は樹高19cm、根元直径4mm。黄葉が始まる。 個体No. ⑭は樹高20cm、根元直径5mm。黄葉が始まる。 4)令和2年3月11日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) 鹿沼土に挿し木した10本中1本に展葉あり。 赤玉土へ挿し木した10本中2本に展葉あり。 移植地土壤に挿し木した10本は展葉していない。	写真オニ-23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植物	ギンラン	移生 植 先 個 体 の 森 の 林 確 認 整 備	9月9日に移植先の周辺環境整備 移植先及び周辺の林内で林床の低木や草本を草刈り機と鎌で刈り込みを行った。今年度15個体を確認した周辺の林内ではギンランが種子を付けていた。	写真ギン- 1, 2, 3, 4, 5, 6
	ノジトラノオ	粉 じ ん の 防 止	7月14日に事業実施区域に隣接する林縁部（改変区域外）のノジトラノオ生育状況確認 保護のためのロープ張りの内外で38個体が生育し、開花を4個体確認した。 個体数が増え、生育状況に異常も無く、粉じんによる影響は見られない。	写真ノジ- 1, 2, 3
	ヌマガヤツリ	粉 じ ん の 防 止	9月17日に生育個体の生育状況調査 対象事業実施区域外（対象事業実施区域に隣接する佐久スキーガーデンパラダの用地）で生育が確認されていた注目すべき種のヌマガヤツリであるが、工事による間接的影響が大きいと評価されていたため、生育状況を確認した。調査の結果、140個体の生育を確認し、粉じん等の付着は見られなかった。なお、スキー場の建物の横では昨年度多くの個体を確認したが、コンテナや資材が設置されたため減少していた。	写真ヌマ-1, 2
	ミズオオバコ	排 水 温 度 の 監 視	8月25日にミズオオバコの生育状況確認 3枚の水田で生育個体をカウントし、計48個体（うち、開花5個体）の生育を確認した。排水温度による影響は見られない。なお、アオウキクサ属の繁茂や水田の畦の草本類繁茂の状況により、毎年、生育確認数にバラツキが生じる。	写真ミズ-1, 2
	イヌハギ	粉 じ ん の 防 止	9月9日に生育個体の生育状況調査 対象事業実施区域外（対象事業実施区域に隣接する佐久スキーガーデンパラダの用地）で昨年度と同様にイヌハギ2個体の生育を確認した。本種は環境省レッドリスト2020の絶滅危惧Ⅱ類（VU）と長野県レッドリスト2014の留意種（N）に該当する。なお、粉じん等の付着は見られなかった。	写真イヌ-1, 2
動物	ベニモンマダラ	生 息 基 盤 の 移 殖	7月16日に生育状況の管理及び確認 1) 生息基盤移植先の個体等生育管理（除草、外来種駆除） 外来種のオオブタクサの抜き取りを行った。 2) 播種及び移植後のクサフジの生育状況の確認 クサフジの生育量を把握するため、植被面積の計測を行った。面積は6.4m <sup>2</sup> で昨年度の17.9m <sup>2</sup> より減少した。他の草本類の繁茂が原因と考えられる。	写真ベニ- 1, 2, 3
		幼 虫、 成 虫 等 の 生 息 確 認	7月16日にベニモンマダラ（成虫）の生息確認 生息基盤移植先（平尾用水法面）ではクサフジを移植した枠の内 外で成虫5個体を確認した。また、クサフジ移植元の事業地内の法面 にもクサフジが残存しているため、ベニモンマダラ成虫の生息数を 調査し、成虫39個体を確認した。	写真ベニ-4, 5

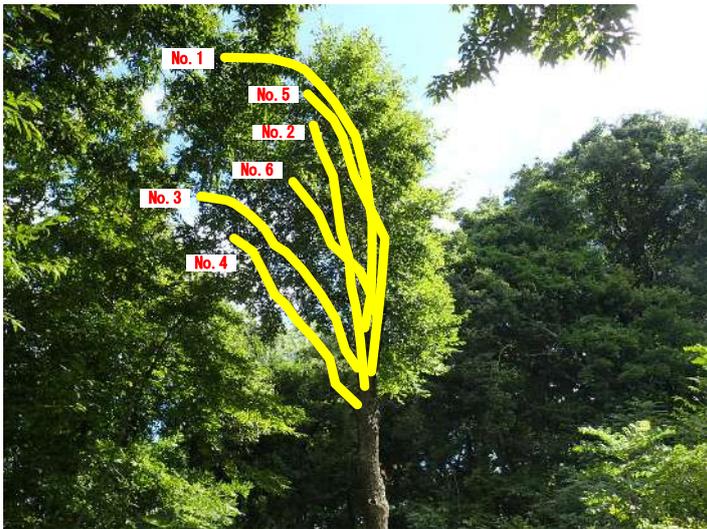
環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
動物	希少猛禽類	移殖先における個体の確認	<p>6月12日及び6月16日採取の陸産貝類について同定(識別)が行われ、7月6日に以下の結果が出た。</p> <p>事業予定地南の移殖先(地点③)においてクリイロベッコウの生貝2個体を確認し、ヒダリマキゴマガイの生死不明5個体、ヒメベッコウの生貝6個体及び生死不明1個体、カスミヒメベッコウの生貝1個体、マギレヒメベッコウの生貝1個体、キビガイ生貝1個体、ハクサンベッコウ属の一種の生貝1個体、ハリマキビの死貝1個体、ナミヒメベッコウの死貝1個体、オオベソマイマイの生貝1個体及び死貝1個体を確認した。</p> <p>事業予定地東の移殖先(地点④)ではクリイロベッコウは確認されなかったが、ニホンケシガイの生死不明3個体、パツラマイマイの生貝1個体、ツノイロヒメベッコウの死貝1個体、ヒメベッコウの生貝1個体、カスミヒメベッコウの死貝1個体、ヒメハリマキビの死貝1個体を確認した。なお、ヒメハリマキビは環境省レッドリスト2020の準絶滅危惧及び長野県レッドリスト2015の留意種に該当している。</p>	写真クリ-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14
		対象事業実施区域の近くで営巣活動が確認された場合の工期変更等の有無の検討	<p>7月21日に定点観察</p> <p>定点観察によりハチクマ9例、ハヤブサ2例を確認。注目行動としてはハチクマによる調査地域外での羽合わせディスプレイや、調査地域内を南西から北東方向に餌運搬した他、ハヤブサによる探餌のための止まりを調査地域の西側で確認した。</p>	写真モウ-1, 2, 3
		対象事業実施区域の近くで営巣活動が確認された場合の工期変更等の有無の検討	<p>7月22日に定点観察</p> <p>定点観察によりハチクマ8例、ハイタカ1例、オオタカ1例を確認したほか、調査対象外のノスリを5例確認した。注目行動としては調査地域の内外でハチクマによる羽合わせディスプレイや餌運搬を確認した他、調査地域外でオオタカによるハチクマへの攻撃、調査地域外でノスリによる餌運搬や林内消失が確認された。</p>	写真モウ-4, 5
		対象事業実施区域の近くで営巣活動が確認された場合の工期変更等の有無の検討	<p>8月17日に定点観察</p> <p>定点観察によりミサゴ1例、ハチクマ3例、オオタカ1例を確認。注目行動としては対象事業実施区域より北西でムクドリ等の小鳥類の狩りを試みるオオタカの幼鳥を確認したが、オオタカの幼鳥は巣立ちして独立後に短期間で長距離を移動することから、対象事業実施区域周辺で出生した個体かは不明である。なお、6月及び7月の定点調査では、餌運搬等の直接繁殖に関わる行動は確認されておらず、対象事業実施区域周辺に営巣地が存在する可能性は低いと考えられる。</p>	写真モウ-6, 7, 8
		対象事業実施区域の近くで営巣活動が確認された場合の工期変更等の有無の検討	<p>8月18日に定点観察</p> <p>定点観察によりハチクマ23例、ハイタカ1例、オオタカ1例、ハヤブサ1例を確認。注目行動としては、対象事業実施区域よりも東方向の舟ヶ沢付近を中心にハチクマ成鳥雄が頻繁に出現し、羽合わせディスプレイや他種への攻撃、舟ヶ沢の巣N13付近への林内消失や出現が確認されたほか、別のハチクマ成鳥雄が対象事業実施区域よりも南西側を広く飛翔する姿が複数回確認された。このほか前日に引き続きオオタカ幼鳥による狩りが対象事業実施区域よりも北側で確認されたほか、調査地域外の南西側ではハイタカによるハチクマへの攻撃が確認されたが、いずれも繁殖に関わる行動は確認されなかった。</p>	写真モウ-9, 10
対象事業実施区域の近くで営巣活動が確認された場合の工期変更等の有無の検討	<p>8月21日に営巣確認</p> <p>6月、7月、8月の定点観察の結果より、営巣確認調査を実施した。</p> <p>ハチクマの繁殖の可能性が示唆された舟ヶ沢の巣N13を確認した結果、枝移りした幼鳥を1羽確認した。また、幼鳥の確認前に、巣付近から飛翔する雄の成鳥1羽の他、しばらくして巣上から飛び出すもう1羽を確認したことから、枝移りしていた幼鳥以外にももう1羽幼鳥がいた可能性が考えられるが、個体の再発見に至らなかった。</p> <p>また、調査地域の南西側(巣N9付近を含む)を広く飛翔する同一の雄成鳥個体が複数回確認されたことから、巣N9の確認を行った結果、今季、使用した痕跡は認められず、巣N9周辺においても新たな巣は確認されなかった。</p> <p>以上の結果から、調査範囲における今季の希少猛禽類の繁殖はハチクマの1ヶ所(巣N13)であった。事業地とは、谷を挟んだ北東側に位置するが、事業による影響はなかったと考えられる。</p>	写真モウ-11, 12, 13		

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
水 象	地 下 水 位	地 下 水 位 モ ニ タ リ ン グ	7月29日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：789.92m(昨年度同月：788.86m) ・調査地点No. 2：744.16m(昨年度同月：744.08m) ・調査地点No. 3：725.33m(昨年度同月：724.89m)	写真チカ-1
			8月27日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：788.77m(昨年度同月：788.57m) ・調査地点No. 2：743.40m(昨年度同月：744.08m) ・調査地点No. 3：724.71m(昨年度同月：724.81m)	写真チカ-2
			9月29日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：788.39m(昨年度同月：787.91m) ・調査地点No. 2：743.43m(昨年度同月：743.68m) ・調査地点No. 3：724.77m(昨年度同月：724.90m)	写真チカ-3

－ 公表・公開情報 －

発行	環境保全措置・事後調査実施状況（概要版）7月号
内容	1 ヤエガワカンバ成木・現地移植幼木の生育状況について 2 オニヒョウタンボク成木の生育状況について 3 ギンランの生育状況について
方法	ホームページに掲載

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-1
	撮影日	R2.7.22
	個体の生育確認及び管理 移植した成木及び幼木周辺の 草刈りの実施 成木移植場所の草刈り実施 前	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-2
	撮影日	R2.7.22
	個体の生育確認及び管理 移植した成木及び幼木周辺の 草刈りの実施 成木移植場所の草刈り実施 後	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-3
	撮影日	R2.7.22
	個体の生育確認及び管理 移植した成木及び幼木周辺の 草刈りの実施 幼木移植場所の草刈り実施 前	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-4
	撮影日	R2.7.22
	個体の生育確認及び管理 移植した成木及び幼木周辺の 草刈りの実施 幼木移植場所の草刈り実施 後	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-5
	撮影日	R2.9.9
	平成27年4月18日移植個体の 生育確認(樹木活力度調査)及 び管理 移植木の全景 全体的に葉の量が多いが、一 部の枝が枯れている。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-6
	撮影日	R2.9.9
	平成27年4月18日移植個体の 生育確認(樹木活力度調査)及 び管理 No.4の枝は枯れ、No.1の枝も 枯れてきている。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-7
	撮影日	R2.9.9
	<p>平成27年4月18日移植個体の 生育確認(樹木活力度調査)及 び管理</p> <p>No.4の枝が枯れている状況。 発生しているキノコはあまり目 立たず、キノコ自体が朽ちて いるように見える。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-8
	撮影日	R2.9.9
	<p>平成27年4月18日移植個体の 生育確認(樹木活力度調査)及 び管理</p> <p>No.1の枝先端部に発生してい るキノコ。手前の葉に隠れて 見えにくいですが、キノコの状況に あまり変化は見られない。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-9
	撮影日	R2.7.16
	<p>平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体)</p> <p>個体No.③ 樹高159cm 根元直径17mm</p> <p>樹高が伸び、十分に展葉した。</p>	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-10
	撮影日	R2.7.16
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.④ 樹高58cm 根元直径12mm  樹高が伸び、十分に展葉した。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-11
	撮影日	R2.7.16
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.⑦ 樹高207cm、株立ち(根元直 径25mm、21mm、17mm)  樹高が伸び、根元直径も太く なり、十分に展葉した。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-12
	撮影日	R2.7.16
	平成28年4月18日播種個体の 生育確認及び管理  個体No.① 樹高45.5cm 根元直径13mm  十分に展葉した。葉の形状か らシラカンバの可能性が高い。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-13
	撮影日	R2.7.16
	平成29年4月21日播種個体の 生育確認及び管理  個体No.① 樹高41cm 根元直径14mm  十分に展葉した。葉の形状から シラカンバの可能性が高い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-14
	撮影日	R2.7.16
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理  ポットNo.1~16(生存数70本) 樹高25.5~39cm 根元直径2~5mm  樹高が伸び、十分に展葉した。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-15
	撮影日	R2.7.16
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理  ポットNo.17~30(生存数65本) 樹高25~38cm 根元直径2~4mm  樹高が伸び、十分に展葉した。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-16
	撮影日	R2.8.7
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.③ 樹高170cm 根元直径19.5mm  樹高が伸び、根元直径も太く なった。生育状況に異常は見 られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-17
	撮影日	R2.8.7
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.④ 樹高69cm 根元直径12mm  樹高が伸びた。生育状況に異 常は見られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-18
	撮影日	R2.8.7
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.⑦ 樹高220cm、株立ち(根元直 径26mm、21mm、20mm)  樹高が伸び、根元直径も太く なった。生育状況に異常は見 られない。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-19
	撮影日	R2.8.7
	平成28年4月18日播種個体の 生育確認及び管理  個体No.① 樹高45.5cm 根元直径13mm  下部の葉が黄葉した。葉の形 状からシラカンバの可能性が 高い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-20
	撮影日	R2.8.7
	平成29年4月21日播種個体の 生育確認及び管理  個体No.① 樹高41cm 根元直径14mm  生育状況に異常は見られな い。葉の形状からシラカンバの 可能性が高い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-21
	撮影日	R2.8.7
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理  ポットNo.1~16(生存数70本) 樹高26~42cm 根元直径3~5mm  樹高が伸び、根元直径も太く なった。生育状況に異常は見 られない。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-22
	撮影日	R2.8.7
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理  ポットNo.17~30(生存数65本) 樹高26~40cm 根元直径3~4mm  樹高が伸び、根元直径も太く なった。生育状況に異常は見 られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-23
	撮影日	R2.9.9
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.③ 樹高184cm 根元直径20mm  樹高が伸び、根元直径も太く なった。生育状況に異常は見 られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-24
	撮影日	R2.9.9
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.④ 樹高77cm 根元直径12mm  樹高が伸びた。生育状況に異 常は見られない。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-25
	撮影日	R2.9.9
	<p>平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体)            ⑦            樹高230cm、株立ち(根元直            径26mm、22mm、20mm)</p> <p>樹高が伸び、根元直径も太く            なった。生育状況に異常は見            られない。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-26
	撮影日	R2.9.9
	<p>平成28年4月18日播種個体の 生育確認及び管理</p> <p>①            樹高45.5cm            根元直径13mm</p> <p>黄葉した下部の葉は落葉し、            一部の葉が枯れ始めている。            葉の形状からシラカンバの可            能性が高い。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-27
	撮影日	R2.9.9
	<p>平成29年4月21日播種個体の 生育確認及び管理</p> <p>①            樹高41cm、根元直径14mm</p> <p>生育状況に異常は見られな            い。葉の形状からシラカンバの            可能性が高い。</p>	

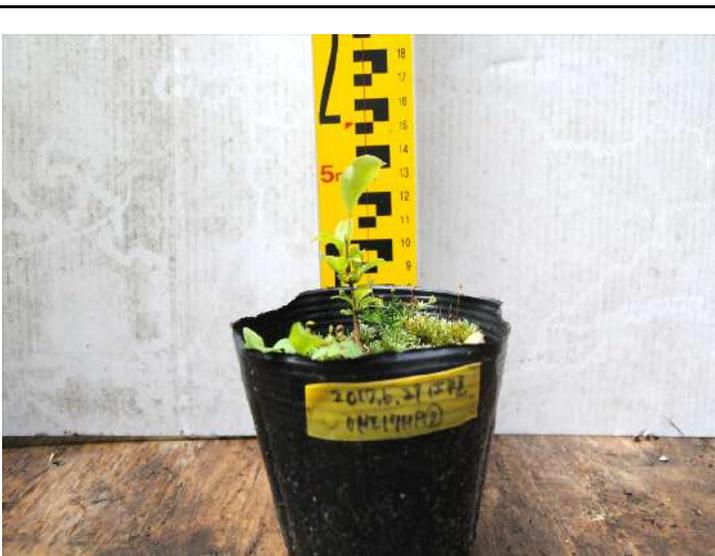
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-28
	撮影日	R2.9.9
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理  ポットNo.1~16(生存数68本) 樹高26~42.5cm 根元直径3~5mm  樹高が伸びた。生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-29
	撮影日	R2.9.9
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理  ポットNo.17~30(生存数65本) 樹高26~40.5cm 根元直径3~5mm  樹高が伸び、根元直径も太く なった。生育状況に異常は見 られない。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-1
	撮影日	R2.7.22
	個体の生育確認及び管理 移植した成木周辺の草刈りの 実施 作業実施前	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-2
	撮影日	R2.7.22
	個体の生育確認及び管理 移植した成木周辺の草刈りの 実施 作業実施後	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-3
	撮影日	R2.9.9
	平成27年4月20日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査) 移植個体の全景 一部の葉にカビと虫食いが 認められるが、全体的に生育 は良く冬芽が形成されてい る。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-4
	撮影日	R2.9.9
	平成27年4月20日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査)  一部の葉に虫食いあり。フジ の蔓が巻き付いていたため除 去した。冬芽形成。 (写真はNo.7)	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-5
	撮影日	R2.9.9
	平成27年4月20日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査)  葉のカビの様子。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-6
	撮影日	R2.9.9
	平成27年4月20日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査)  虫食いの様子。	

	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>保全対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> <tr> <td>写真番号</td> <td>オニ-7</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>R2.7.16</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認(ポット)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">           個体No.③            樹高7cm、根元直径3mm             展葉した。         </td> </tr> </tbody> </table>	保全対象種	オニヒョウタンボク	写真番号	オニ-7	撮影日	R2.7.16	平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認(ポット)		個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm  展葉した。	
保全対象種	オニヒョウタンボク										
写真番号	オニ-7										
撮影日	R2.7.16										
平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認(ポット)											
個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm  展葉した。											
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>保全対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> <tr> <td>写真番号</td> <td>オニ-8</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>R2.7.16</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">           個体No.⑰            樹高25cm、根元直径6mm             展葉した。実が2個あり。         </td> </tr> </tbody> </table>	保全対象種	オニヒョウタンボク	写真番号	オニ-8	撮影日	R2.7.16	平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)		個体No.⑰ 樹高25cm、根元直径6mm  展葉した。実が2個あり。	
保全対象種	オニヒョウタンボク										
写真番号	オニ-8										
撮影日	R2.7.16										
平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)											
個体No.⑰ 樹高25cm、根元直径6mm  展葉した。実が2個あり。											
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>保全対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> <tr> <td>写真番号</td> <td>オニ-9</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>R2.7.16</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">           個体No.②            樹高17cm、根元直径6mm             展葉した。         </td> </tr> </tbody> </table>	保全対象種	オニヒョウタンボク	写真番号	オニ-9	撮影日	R2.7.16	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)		個体No.② 樹高17cm、根元直径6mm  展葉した。	
保全対象種	オニヒョウタンボク										
写真番号	オニ-9										
撮影日	R2.7.16										
平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)											
個体No.② 樹高17cm、根元直径6mm  展葉した。											

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-10
	撮影日	R2.7.16
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 個体No.⑫ 樹高19cm、根元直径4mm 展葉した。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-11
	撮影日	R2.7.16
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 個体No.⑭ 樹高20cm、根元直径5mm 展葉した。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-12
	撮影日	R2.7.16
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 鹿沼土への挿し木個体 10本中1本に展葉あり。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-13
	撮影日	R2.7.16
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  赤玉土への挿し木個体  10本中2本に展葉あり。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-14
	撮影日	R2.7.16
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  移植地土壌への挿し木個体  展葉していない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-15
	撮影日	R2.8.7
	平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認(ポット)  個体No.③ 樹高7cm 根元直径3mm  生育状況に異常は見られない	

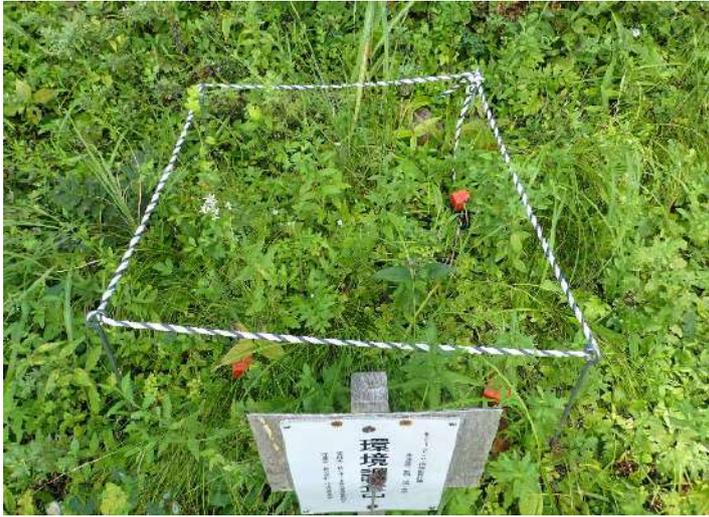
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-16
	撮影日	R2.8.7
	平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  個体No.① 樹高25cm 根元直径6mm  生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-17
	撮影日	R2.8.7
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  個体No.② 樹高18cm 根元直径6mm  樹高が伸びた。生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-18
	撮影日	R2.8.7
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  個体No.⑫ 樹高19cm 根元直径4mm  生育状況に異常は見られない。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-19
	撮影日	R2.8.7
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  個体No.⑭ 樹高20cm 根元直径5mm  生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-20
	撮影日	R2.8.7
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  鹿沼土への挿し木個体  10本中1本に展葉あり。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-21
	撮影日	R2.8.7
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  赤玉土への挿し木個体  10本中2本に展葉あり。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-22
	撮影日	R2.8.7
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  移植地土壌への挿し木個体  展葉していない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-23
	撮影日	R2.9.9
	平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認(ポット)  個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm  生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-24
	撮影日	R2.9.9
	平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  個体No.⑰ 樹高25cm、根元直径6mm  生育状況に異常は見られない。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-25
	撮影日	R2.9.9
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  個体No.② 樹高18cm、根元直径6mm  生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-26
	撮影日	R2.9.9
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  個体No.⑫(中央) 樹高19cm、根元直径4mm  黄葉が始まる。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-27
	撮影日	R2.9.9
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  個体No.⑭ 樹高20cm、根元直径5mm  黄葉が始まる。	

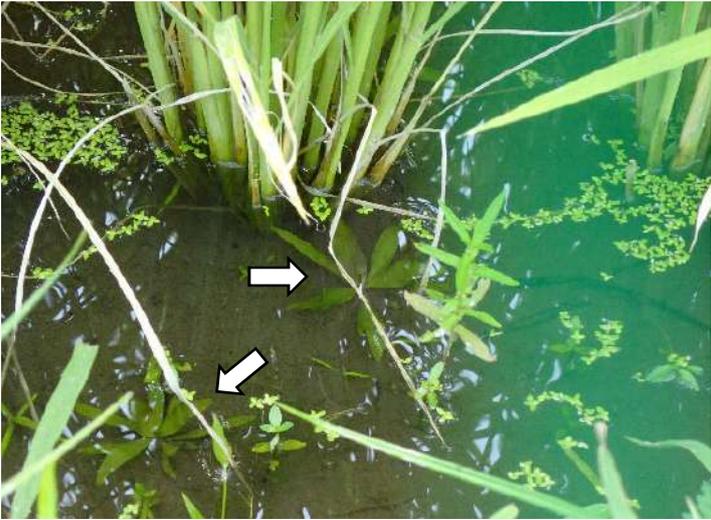
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-28
	撮影日	R2.9.9
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 鹿沼土への挿し木個体 10本中1本に展葉あり。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-29
	撮影日	R2.9.9
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 赤玉土への挿し木個体 10本中2本に展葉あり。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-30
	撮影日	R2.9.9
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 移植地土壌への挿し木個体 展葉していない。	

	保全対象種	ギンラン
	写真番号	ギン-1
	撮影日	R2.9.9
	移植先の周辺環境整備 林床の低木や草本の刈り込み作業(草刈り機と鎌による作業)	
	保全対象種	ギンラン
	写真番号	ギン-2
	撮影日	R2.9.9
	移植先の周辺環境整備 作業前 (写真は平成27年度移植場所)	
	保全対象種	ギンラン
	写真番号	ギン-3
	撮影日	R2.9.9
	移植先の周辺環境整備 作業後 (写真は平成27年度移植場所)	

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-4
	撮影日	R2.9.9
	移植先の周辺環境整備 作業前 (写真は移植地の周辺)	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-5
	撮影日	R2.9.9
	移植先の周辺環境整備 作業後 (写真は移植地の周辺)	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-6
	撮影日	R2.9.9
	移植先の周辺環境整備 今年度15個体を確認した周辺 の林内ではギンランが種子を 付けていた。	

	保 全 対象種	ノジトラノオ
	写 真 番 号	ノジ-1
	撮影日	R2.7.14
	事業実施区域に隣接する林 縁部(改変区域外)のノジトラ ノオ生育状況確認  確認場所の様子	
	保 全 対象種	ノジトラノオ
	写 真 番 号	ノジ-2
	撮影日	R2.7.14
	事業実施区域に隣接する林 縁部(改変区域外)のノジトラ ノオ生育状況確認  保護のためのロープ張りの内 外で38個体が生育し、開花を 4個体確認した。 個体数が増え、生育状況に異 常も無く、粉じんによる影響は 見られない。	
	保 全 対象種	ノジトラノオ
	写 真 番 号	ノジ-3
	撮影日	R2.7.14
	事業実施区域に隣接する林 縁部(改変区域外)のノジトラ ノオ生育状況確認  開花の様子	

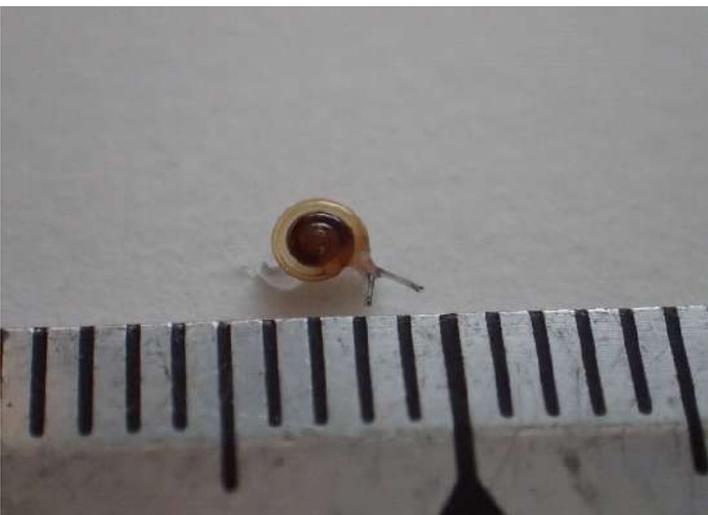
	保 全 対象種	ヌマガヤツリ
	写 真 番 号	ヌマ-1
	撮影日	R2.9.17
	<b>生育個体の生育状況調査</b> ヌマガヤツリは、対象事業実施区域に隣接する佐久スキーガーデンパラダの用地内に大小合わせて140個体が生育していた。 粉じん等の付着は見られない。	
	保 全 対象種	ヌマガヤツリ
	写 真 番 号	ヌマ-2
	撮影日	R2.9.17
	<b>生育個体の生育状況調査</b> スキー場の建物の横では昨年度多くの個体を確認したが、コンテナや資材が設置されたため減少していた。	

	保 全 対象種	ミズオオバコ
	写 真 番 号	ミズ-1
	撮影日	R2.8.25
生育状況確認 3枚の水田で計48個体(うち、開花5個体)の生育を確認した。排水温度による影響は見られない。なお、アオウキクサ属の繁茂や水田の畦の草本類繁茂の状況により、毎年、生育確認数にバラツキが生じる。		
	保 全 対象種	ミズオオバコ
	写 真 番 号	ミズ-2
	撮影日	R2.8.25
生育状況確認 開花した個体。		

	保 全 対象種	イヌハギ
	写 真 番 号	イヌ-1
	撮影日	R2.9.9
	生育個体の生育状況調査 イヌハギの生育を確認した場所 (佐久スキーガーデンパラダの用地)	
	保 全 対象種	イヌハギ
	写 真 番 号	イヌ-2
	撮影日	R2.9.9
	生育個体の生育状況調査 生育を確認したイヌハギ 粉じんの付着は見られなかった。	

	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-1
	撮影日	R2.7.16
	生息基盤移殖先の個体等生育管理(除草、外来種駆除) 外来種のおオブタクサ(抜き取り前)	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-2
	撮影日	R2.7.16
	播種及び移植後のクサフジ生育状況の確認 クサフジの生育量を把握するため、植被面積の計測を行った。面積は6.4m <sup>2</sup> で昨年度の17.9m <sup>2</sup> より減少した。他の草本類の繁茂が原因と考えられる。(写真は平尾用水法面の全景)	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-3
	撮影日	R2.7.16
	播種及び移植後のクサフジ生育状況の確認 生育するクサフジの様子	

	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-4
	撮影日	R2.7.16
	<b>成虫の生息確認</b> クサフジ移植元の事業地内の法面にもクサフジが残存しているため、ベニモンマダラ成虫の生息を確認した。	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-5
	撮影日	R2.7.16
	<b>成虫の生息確認</b> 平尾用水法面のクサフジ移植枠の内外で成虫5個体を確認した。 クサフジ移植元の事業地内の法面で成虫39個体を確認した。 (写真は平尾用水法面で確認した成虫)	

	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>クリイロベッコウ</td> </tr> </table>	保 全 対象種	クリイロベッコウ
保 全 対象種	クリイロベッコウ		
	<table border="1"> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>クリ-1</td> </tr> </table>	写 真 番 号	クリ-1
写 真 番 号	クリ-1		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>R2.6.16</td> </tr> </table>	撮影日	R2.6.16
撮影日	R2.6.16		
	<p>移殖先における個体の生息確認(実施日:6/16再調査)※同定(識別)結果</p> <p>事業予定地南の落葉広葉樹林内移殖地でクリイロベッコウ(環境省RL2020の情報不足、長野県RL2015の留意種)の生貝を2個体確認した。写真の個体の殻径は約8mm。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>クリイロベッコウ</td> </tr> </table>	保 全 対象種	クリイロベッコウ
保 全 対象種	クリイロベッコウ		
	<table border="1"> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>クリ-2</td> </tr> </table>	写 真 番 号	クリ-2
写 真 番 号	クリ-2		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>R2.6.12</td> </tr> </table>	撮影日	R2.6.12
撮影日	R2.6.12		
	<p>移殖先における個体の生息確認(実施日:6/12)※同定(識別)結果</p> <p>事業予定地南の落葉広葉樹林内移殖地でヒダリマキゴマガイ(普通種)の生死不明5個体を確認した。写真の個体の殻長は2mm前後。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>クリイロベッコウ</td> </tr> </table>	保 全 対象種	クリイロベッコウ
保 全 対象種	クリイロベッコウ		
	<table border="1"> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>クリ-3</td> </tr> </table>	写 真 番 号	クリ-3
写 真 番 号	クリ-3		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>R2.6.12</td> </tr> </table>	撮影日	R2.6.12
撮影日	R2.6.12		
	<p>移殖先における個体の生息確認(実施日:6/12)※同定(識別)結果</p> <p>事業予定地南の落葉広葉樹林内移殖地でヒメベッコウ(普通種)の生貝6個体、生死不明を1個体、事業予定地東の落葉広葉樹林内移殖地で生貝1個体を確認した。写真の個体の殻径は約2mm。</p>		

	保 全 対象種	クイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-4
	撮影日	R2.6.12
	<p>移殖先における個体の生息確認(実施日:6/12)※同定(識別)結果</p> <p>事業予定地南の落葉広葉樹林内移殖地でカスミヒメベッコウ(普通種)の生貝1個体、事業予定地東の落葉広葉樹林内移殖地で死貝1個体を確認した。写真の個体の殻径は約2mm。</p>	
	保 全 対象種	クイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-5
	撮影日	R2.6.12
	<p>移殖先における個体の生息確認(実施日:6/12)※同定(識別)結果</p> <p>事業予定地南の落葉広葉樹林内移殖地でマギレヒメベッコウ(普通種)の生貝1個体を確認した。写真の個体の殻径は約2mm。</p>	
	保 全 対象種	クイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-6
	撮影日	R2.6.12
	<p>移殖先における個体の生息確認(実施日:6/12)※同定(識別)結果</p> <p>事業予定地南の落葉広葉樹林内移殖地でキビガイ(普通種)の生貝1個体を確認した。写真の個体の殻径は約2mm。</p>	

	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-7
	撮影日	R2.6.12
	移殖先における個体の生息 確認(実施日:6/12)※同定(識 別)結果  事業予定地南の落葉広葉樹 林内移殖地でハクサンベッコ ウ属の一種(普通種)の生貝1 個体を確認した。写真の個体 の殻径は約3mm。	
	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-8
	撮影日	R2.6.12
	移殖先における個体の生息 確認(実施日:6/12)※同定(識 別)結果  事業予定地南の落葉広葉樹 林内移殖地でハリマキビ(普 通種)の死貝1個体を確認し した。写真の個体の殻径は約 2mm。	
	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-9
	撮影日	R2.6.12
	移殖先における個体の生息 確認(実施日:6/12)※同定(識 別)結果  事業予定地南の落葉広葉樹 林内移殖地でナミヒメベッコウ (普通種)の死貝1個体を確 認した。写真の個体の殻径は約 3.5mm。	

	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-10
	撮影日	R2.6.12
	<p>移殖先における個体の生息確認(実施日:6/12)※同定(識別)結果</p> <p>事業予定地南の落葉広葉樹林内移殖地でオオベソマイマイ(普通種)の死貝1個体、生貝1個体を確認した。写真の個体の殻径は約10mm。</p>	
	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-11
	撮影日	R2.6.12
	<p>移殖先における個体の生息確認(実施日:6/12)※同定(識別)結果</p> <p>事業予定地東の落葉広葉樹林内移殖地でニホンケシガイ(普通種)の生死不明3個体を確認した。写真の個体の殻長は約1mm。</p>	
	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-12
	撮影日	R2.6.12
	<p>移殖先における個体の生息確認(実施日:6/12)※同定(識別)結果</p> <p>事業予定地東の落葉広葉樹林内移殖地でパツラマイマイ(普通種)の生貝1個体を確認した。写真の個体の殻径は約3mm。</p>	

	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-13
	撮影日	R2.6.12
	<p>移殖先における個体の生息確認(実施日:6/12)※同定(識別)結果</p> <p>事業予定地東の落葉広葉樹林内移殖地でツノイロヒメベッコウ(普通種)の死貝1個体を確認した。写真の個体の殻径は約4mm。</p>	
	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-14
	撮影日	R2.6.12
	<p>移殖先における個体の生息確認(実施日:6/12)※同定(識別)結果</p> <p>事業予定地東の落葉広葉樹林内移殖地でヒメハリマキビ(環境省RL2020の準絶滅危惧、長野県RL2015の留意種)の死貝1個体を確認した。写真の個体の殻径は約2mm。</p>	

	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-1
	撮影日	R2.7.21
	定点観察実施状況 主対象: ハチクマ、ハイタカ	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-2
	撮影日	R2.7.21
	確認種: ハチクマ 調査地域外の西側で飛翔したハチクマ成鳥雌。	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-3
	撮影日	R2.7.21
	確認種: ハヤブサ 調査地域の西側の尾根上で枯れ木に北東向きに止まり餌を探していたハヤブサの成鳥(雌雄不明)。	

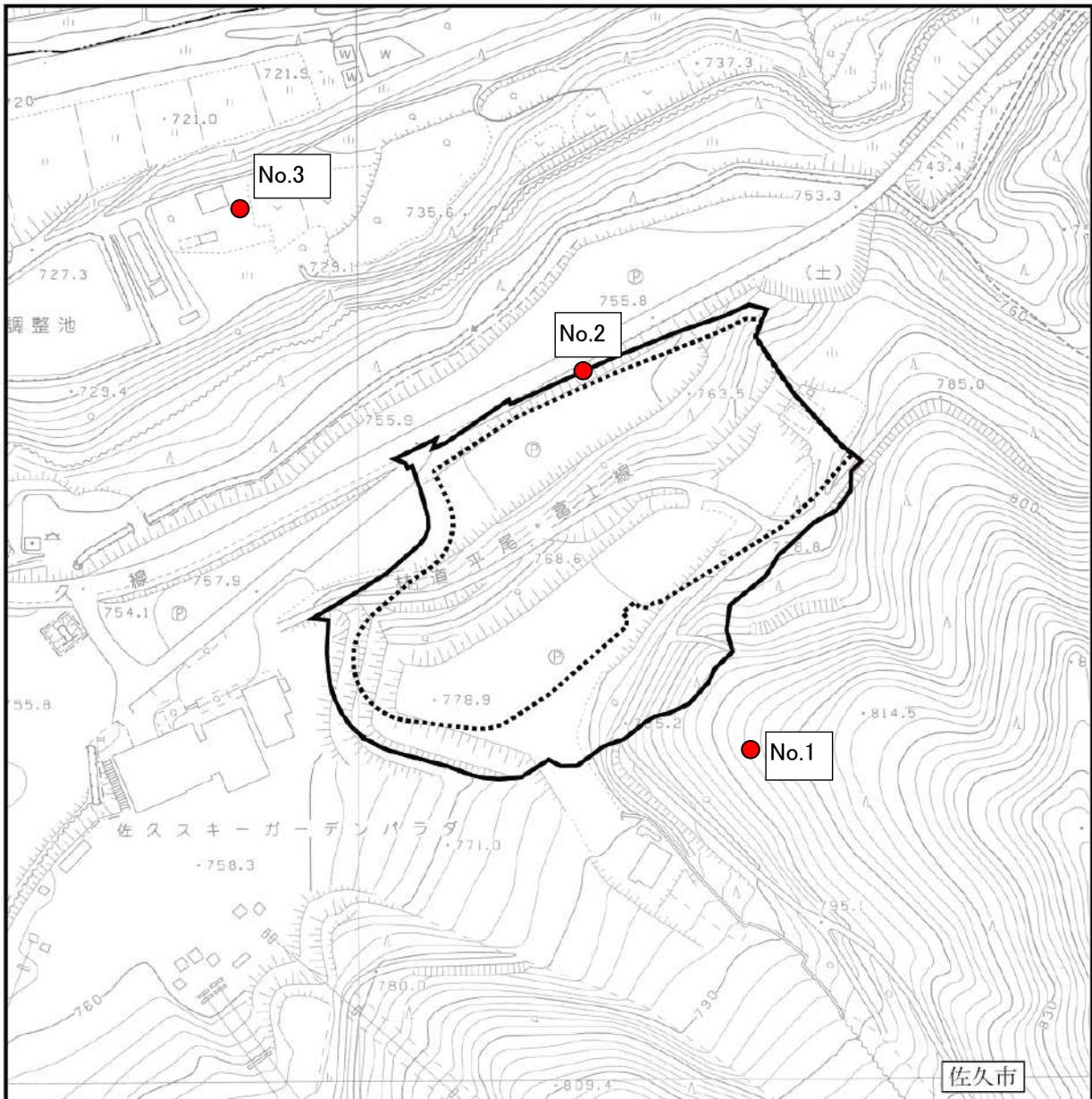
	保 全 対 象 種	希 少 猛 禽 類
	写 真 番 号	モウ-4
	撮 影 日	R2.7.22
	定点観察実施状況 主対象:ハチクマ、ハイタカ	
	保 全 対 象 種	希 少 猛 禽 類
	写 真 番 号	モウ-5
	撮 影 日	R2.7.22
	確認種:ハチクマ 調査地域外の西側で飛翔したハチクマ成鳥雄。	
	保 全 対 象 種	希 少 猛 禽 類
	写 真 番 号	モウ-6
	撮 影 日	R2.8.17
	定点観察実施状況 主対象:ハチクマ、ハイタカ	

	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-7
	撮影日	R2.8.17
	<b>確認種:ハチクマ</b> 対象事業実施区域より北西側で旋回して上昇。南南東方向へ滑空と旋回上昇、旋回移動を行い飛翔したハチクマ成鳥雄。	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-8
	撮影日	R2.8.17
	<b>確認種:オオタカ</b> 調査地域外の北側や西側でオオタカの幼鳥(性別不明)がムクドリや小鳥を狙ってハンティングを試みるが成否不明。	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-9
	撮影日	R2.8.18
	<b>定点観察実施状況</b> <b>主対象:ハチクマ、ハイタカ</b>	

	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-10
	撮影日	R2.8.18
	<p>確認種:ハチクマ</p> <p>調査地域外の北側を東方向へ飛翔し、舟ヶ沢の巣N13付近へ飛翔したハチクマ成鳥雄。</p>	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-11
	撮影日	R2.8.21
	<p>営巣確認実施状況</p> <p>定点観察により、ハチクマの繁殖が示唆された舟ヶ沢の巣N13を確認した結果、巣付近から飛翔するハチクマ成鳥雄1個体と枝移りした幼鳥1個体を確認した。また、しばらくして巣上から飛び出す幼鳥と思われる1個体を確認した。</p>	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-12
	撮影日	R2.8.21
	<p>営巣確認実施状況</p> <p>巣N13の枝移りした幼鳥</p> <p>巣N13において今季、ハチクマによる繁殖が確認された。巣は事業地とは谷を挟んだ北東側に位置するが、事業による影響は無かったと考えられる。</p>	

	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-13
	撮影日	R2.8.21
	<b>営巣確認実施状況</b> 調査地域の南西側(巣N9付近を含む)を広く飛翔する同一のハチクマ成鳥雄が複数回確認されたことから、巣N9の確認を行ったが、今季、巣を使用した痕跡は認められず、周辺においても新たな巣は確認されなかった。	

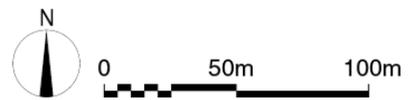
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-1
	撮影日	R2.7.29
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.3)	
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-2
	撮影日	R2.8.27
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.2)	
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-3
	撮影日	R2.9.29
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.1)	



凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 計画施設用地
- : 地下水位調査地点

----- : 市町界



地下水位調査地点

令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

【措置項目】成木の移植

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月18日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	展葉したが一部の枝が枯れている。キノコにはまだ目立った生長は見られない。					全体的に葉の量は多いが、一部の枝が枯れている。No.4の枝のキノコはキノコ自体が朽ちているように見える。他の枝のキノコには目立った変化は見られない。					
	撮影日:5月11日					撮影日:9月9日					

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.③ 樹高118cm 根元直径16mm 展葉始まる。	個体No.③ 樹高125cm 根元直径17mm 展葉した。	個体No.③ 樹高159cm 根元直径17mm 樹高が伸び、十分に展葉した。	個体No.③ 樹高170cm 根元直径19.5mm 樹高が伸び、根元直径も太くなった。生育状況に異常は見られない。	個体No.③ 樹高184cm 根元直径20mm 樹高が伸び、根元直径も太くなった。生育状況に異常は見られない。						
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日						

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.④ シラカンバの可能性のある個体No.⑤に変えて個体No.④を移植した。 樹高30cm、根元直径11mm 展葉始まる。	個体No.④ 樹高39cm、根元直径12mm 展葉した。	個体No.④ 樹高58cm、根元直径12mm 樹高が伸び、十分に展葉した。	個体No.④ 樹高69cm、根元直径12mm 樹高が伸びた。生育状況に異常は見られない。	個体No.④ 樹高77cm、根元直径12mm 樹高が伸びた。生育状況に異常は見られない。						
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日						

令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		個体No.⑦ 樹高140cm、株立ち(根元直径20mm、18mm、13mm)展葉始まる。	個体No.⑦ 樹高169cm、株立ち(根元直径21mm、19mm、14mm)展葉した。	個体No.⑦ 樹高207cm、株立ち(根元直径25mm、21mm、17mm)樹高が伸び、根元直径も太くなり、十分に展葉した。	個体No.⑦ 樹高220cm、株立ち(根元直径26mm、21mm、20mm)樹高が伸び、根元直径も太くなった。生育状況に異常は見られない。	個体No.⑦ 樹高230cm、株立ち(根元直径26mm、22mm、20mm)樹高が伸び、根元直径も太くなった。生育状況に異常は見られない。					
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日					

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成28年4月18日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		個体No.① 樹高42cm、根元直径12mm展葉始まる。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高42cm、根元直径12mm展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。アブラムシにより一部の葉が枯れたため、殺虫剤を散布。	個体No.① 樹高45.5cm 根元直径13mm 十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高45.5cm 根元直径13mm 下部の葉が黄葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高45.5cm 根元直径13mm 黄葉した下部の葉は落葉し、一部の葉が枯れ始めている。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。					
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日					

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成29年4月21日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		個体No.① 樹高38cm、根元直径12mm展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高38cm、根元直径12mm展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。アブラムシにより一部の葉が枯れたため、殺虫剤を散布。	個体No.① 樹高41cm、根元直径14mm十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高41cm、根元直径14mm生育状況に異常は見られない。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高41cm、根元直径14mm生育状況に異常は見られない。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。					
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日					

令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成30年4月10日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		生存数136本。 樹高12cm～27.5cm、根元直径2～4mm 展葉始まる。	生存数135本。 樹高20cm～33cm、根元直径2～5mm 展葉した。	生存数135本。 樹高25cm～39cm、根元直径2～5mm 樹高が伸び、十分に展葉した。	生存数135本。 樹高26cm～42cm、根元直径3～5mm 樹高が伸び、根元直径も太くなった。生育状況に異常は見られない。	生存数133本。 樹高26cm～42.5cm、根元直径3～5mm 樹高が伸びた。生育状況に異常は見られない。					
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日					

令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

【措置項目】成木の移植

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月20日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	樹高は1.7～2.8m。全ての個体で順調に展葉して開花している。一部の個体に結実も見られる。					一部の葉にカビと虫食いが認められるが、全体に生育は良く冬芽形成。個体No.7にはフジの蔓が巻き付いていたため除去した。					
		撮影日:5月11日				撮影日:9月9日					

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成29年6月29日に新たに種子20個をプランターに播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 展葉した。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 展葉した。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 展葉した。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 展葉した。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 生育状況に異常は見られない。					
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日					

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.⑪ 樹高21.5cm、根元直径6mm 開花して展葉した。	個体No.⑪ 樹高22cm、根元直径6mm 展葉した。	個体No.⑪ 樹高25cm、根元直径6mm 展葉した。実が2個あり。	個体No.⑪ 樹高25cm、根元直径6mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.⑪ 樹高25cm、根元直径6mm 生育状況に異常は見られない。						
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日					

令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗)										
	個体No.② 樹高14.5cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.② 樹高16cm、根元直径5mm 展葉した。	個体No.② 樹高17cm、根元直径6mm 展葉した。	個体No.② 樹高18cm、根元直径6mm 樹高が伸びた。生育状況に異常は見られない。	個体No.② 樹高18cm、根元直径6mm 生育状況に異常は見られない。					
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日					

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗)										
	個体No.⑫(中央) 樹高16.5cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.⑫(中央) 樹高19cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.⑫(中央) 樹高19cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.⑫(中央) 樹高19cm、根元直径4mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.⑫(中央) 樹高19cm、根元直径4mm 黄葉が始まる。					
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日					

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗)										
	個体No.⑭ 樹高18cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.⑭ 樹高19cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.⑭ 樹高20cm、根元直径5mm 展葉した。	個体No.⑭ 樹高20cm、根元直径5mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.⑭ 樹高20cm、根元直径5mm 黄葉が始まる。					
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日					

令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月11日に30本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(鹿沼土で育苗)										
	10本中8本に展葉あり。	10本中3本に展葉あり。	10本中1本に展葉あり。	10本中1本に展葉あり。	10本中1本に展葉あり。					
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日					

【措置項目】個体の生育確認及び管理

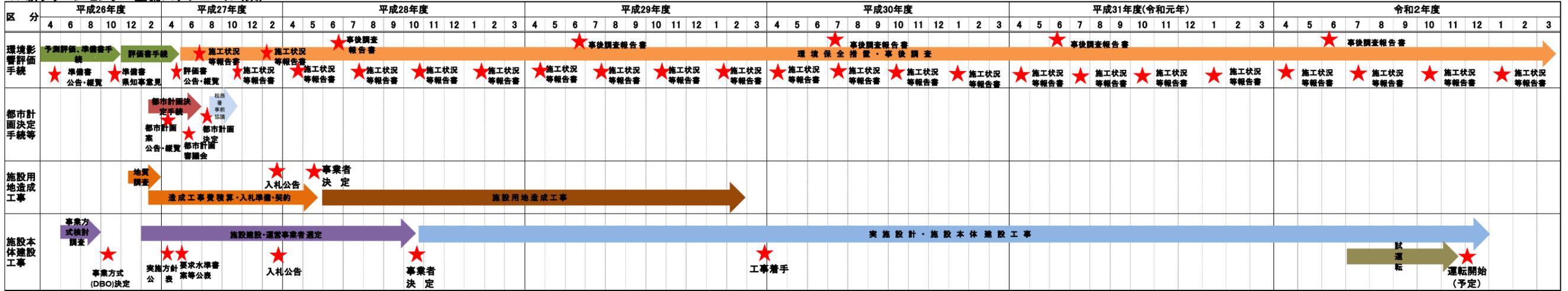
事後調査の内容	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月11日に30本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(赤玉土で育苗)										
	10本中6本に展葉あり。	10本中3本に展葉あり。	10本中2本に展葉あり。	10本中2本に展葉あり。	10本中2本に展葉あり。					
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日					

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月11日に30本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(移植地土壌で育苗)										
	葉の新芽はあるがまだ展葉していない。	展葉していない。	展葉していない。	展葉していない。	展葉していない。					
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日					

◆施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)



2. 対象事業の実施状況一覧

年 回 報 対 象 期	平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度(令和元年)				令和2年度			
	第1回報告 4月～6月	第2回報告 7月～9月	第3回報告 10月～12月	第4回報告 1月～3月	第5回報告 4月～6月	第6回報告 7月～9月	第7回報告 10月～12月	第8回報告 1月～3月	第9回報告 4月～6月	第10回報告 7月～9月	第11回報告 10月～12月	第12回報告 1月～3月	第13回報告 4月～6月	第14回報告 7月～9月	第15回報告 10月～12月	第16回報告 1月～3月	第17回報告 4月～6月	第18回報告 7月～9月	第19回報告 10月～12月	第20回報告 1月～3月	第21回報告 4月～6月	第22回報告 7月～9月	第23回報告 10月～12月	第24回報告 1月～3月
実施状況	現在、造成工事等については、未着手である。 【都市計画決定手続】平成27年7月8日付けで本事業に係る都市計画が決定。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得に係る税務署事前協議】平成27年8月19日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得関係】平成27年11月26日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。 【敷地造成工事】造成工事費の積算を行い、精査を実施している。	現在、造成工事等については、未着手である。 【敷地造成工事】平成28年3月14日付で入札公告、同3月30日に入札が行われた。残土運搬先について、該当する個人地権者へ説明。一部から了承を得られた。 【施設本体建設工事】平成28年3月14日付で入札公告、参加表明締切を同4月28日に予定している。	平成28年6月6日、敷地造成工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県へ提出した。 【敷地造成工事】6月は準備工として、敷地内の伐採と測量作業を行った。 【施設本体建設工事】平成28年4月28日付で入札参加表明を締切り、同6月27日付で提案書の提出を受付けた。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】敷地の掘削を開始した。管渠工事が完了した。 【施設本体建設工事】平成28年8月9日に開札及び総合評価を実施した。同9月1日、落札者決定について公表した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】掘削が続いている。 【施設本体建設工事】平成28年10月25日建設請負契約を締結。実施設計協議を開始した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良の準備を進め、開始した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良を終え、擁壁本体の施工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の一部が、最上段まで積み上がった。ブロック積工及び法面工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁が完成し、敷地造成工事は、わずかな排水路工事を残すのみとなった。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。平成29年12月8日に建築確認の申請を行った。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】実施設計協議を継続中。平成29年12月8日に建築確認の申請を行った。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】5月より杭工事に着手した。5月末よりごみピット掘削工事に着手した。6月末より工場棟(一部)基礎根切掘削工事に着手した。 【法面保護工事】敷地法面の植生工事に着手した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】杭工事、山留工事、ごみピット掘削工事が完了した。工場棟一階の躯体工事に着手した。 【法面保護工事】9月末に法面保護工事が完了した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】プラント架構の建て方工事に着手した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟基礎工事に着手した。 【施設本体建設工事】事務所棟の基礎工事、工場棟の建築工事、プラント機械の設置工事を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の屋根、外壁工事、工場棟の躯体、外壁、設備工事、プラント機械の設置工事を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の外壁塗装、内装、設備工事、工場棟の内装、設備工事、プラントの電気、電気計装、保温工事、計量棟、洗車棟、車庫棟の外壁、設備工事を行っています。令和2年6月2日から受電を開始し、工場棟機器類の単体試験を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の外装、内装、設備工事、工場棟の内装、設備工事、プラントの電気、電気計装、保温工事、計量棟、洗車棟、車庫棟の外装、設備工事を行っています。令和2年6月2日から受電を開始し、工場棟機器類の単体試験を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。また、施設の試運転を開始した。 【施設本体建設工事】各工区とも仕上げ・まとめ作業を随時行っています。計量棟、洗車棟、車庫棟の工事が概ね終了し、構内道路の舗装等の各種外構工事を行っています。 【試運転】令和2年8月3日に安全な焼却運転を祈願する「火入れ式」を執り行い、8月17日からごみの一部搬入を開始。8月26日から第1期焼却運転を開始しました。9月8日から炉を停止させて各所点検を行い、9月14日から第2期焼却運転を開始しています。	建設地では、敷地造成工事が竣工し、建設工事に着手した。 【敷地造成工事】平成30年2月28日に竣工した。 【施設本体建設工事】実施設計が完了した。平成29年12月8日に行った建築確認の申請について、平成30年1月31日に手続きが完了した。公害防止関係、廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係の届出等、監督官公庁への手続きが完了した。平成30年3月27日より山留工事に着手した。			

施工状況(7月～9月)

実施月	実施状況	写真
7月	<p>【工場棟・事務所棟工事】                      建築工事は、各工区とも仕上げ・まとめ作業を行い、消防検査、建築確認完了検査が終了しました。</p> <p>【その他工事】                      計量棟、洗車棟、車庫棟の付属棟の工事が概ね終了しました。外構工事では、門塀工事や場内道路の側溝工事、舗装工事を行っています。</p> <p>【プラント試運転】                      各種機器の単体調整、総合調整等を行っています。</p>	
8月	<p>【工場棟・事務所棟工事】                      各工区とも仕上げ・まとめ作業を随時行っています。</p> <p>【その他工事】                      外構工事は、構内道路のライン引き、フェンス・ガードレール工事を行いました。</p> <p>【プラント試運転】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月3日に今後の安全な焼却運転を祈願する「火入れ式」が執り行われ、その後耐火物の水分を乾燥させる「乾燥焚き」、蒸気配管を清掃する「蒸気フラッシング」を行いました。</li> <li>・ また、8月17日よりごみの搬入を一部開始し、8月26日より焼却試運転を開始しました。</li> </ul>	
9月	<p>【工場棟・事務所棟工事】                      各工区とも仕上げ・まとめ作業を随時行っています。</p> <p>【その他工事】                      外構工事は、構内誘導看板、カーブミラーの設置、駐車場廻りの側溝・縁石工事を行いました。</p> <p>【プラント試運転】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1期焼却運転後、9月8日から一旦炉を停止させ各所点検を行いました。</li> <li>・ また、9月14日より第2期焼却運転を開始し、連続運転後、9月29日、30日に要求水準の性能を満たした運転を行うため予備性能試験を行いました。</li> </ul>	

◆施設建設工事中の施工業者による環境保全措置実施状況

調査年月日：2020年7月1日～9月30日

	調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類
				7月	8月	9月	
工事関係車両の走行	1 走行時間の分散	大気質、騒音、振動、 触れ合い活動の場	工事関係車両の走行が集中しないよう走行の時期・時間の分散に努める。 特に朝の通学時間帯は極力避けるように配慮する。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
	2 交通規制等の遵守	大気質、騒音、振動、 触れ合い活動の場	工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制及び指定走行ルート、標示規制等を遵守するよう指導する。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
	3 アイドリングストップ・エコドライブの励行	大気質	工事関係車両のアイドリングストップ・エコドライブを徹底する。	○	○	○	写真1
	4 土砂運搬車両等のタイヤ洗浄	大気質	建設地から退出する工事関係車両等の洗車を適宜実施する。	-	-	-	-
	5 工事用車両出入り口の路面洗浄等	大気質	建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。	○	○	○	写真2
	6 土砂搬出車両荷台のシート掛け	大気質	土砂を搬出入する場合の車両荷台へのシートの敷設を行う。	○	-	-	写真3
	7 交通整理員の配置	触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、必要に応じて交通整理員を配置するなど、出入口付近での車両の交錯を防止する。	○	○	○	写真4
	8 北パラダを利用する一般車両への配慮	触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、来場者が多くなる土・日曜日の工事関係車両の走行を避けるように努める。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
建設機械稼働	1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)	大気質、騒音、振動、 動物、生態系、 触れ合い活動の場	建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の使用や低騒音型・低振動型工法の採用に努める。	○	○	○	写真5～16 参考資料1(非公開)
	2 建設機械稼働時間の抑制	大気質	建設機械は、アイドリングストップを徹底する。	○	○	○	写真17 参考資料1(非公開)
	3 建設機械稼働時間の分散	騒音、振動、 触れ合い活動の場	建設機械の稼働台数が集中しないよう工事の時期・時間の分散に努める。	○	○	○	写真17 参考資料1(非公開)

※実施状況欄 ○：実施 ー：実施不要のため未実施

建設機械の稼働	調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類	
				7月	8月	9月		
土地造成、掘削、樹木の伐採	4	工事区域の仮囲い、遮音壁の設置	大気質、騒音	建設地周辺へ工事用仮囲いを設置する。 必要に応じて対象事業実施区域境界に遮音壁を設置する。	○	—	写真18	
	5	工事区域への散水等	大気質、植物、生態系	建設中の構内道路への散水や欵板の敷設等を行う。 散水を実施することで、粉じんの発生を防止し、周辺に生育する植物への影響を低減する。	○	○	写真19 参考資料1(非公開)	
	1	安全な掘削方法の検討	地形・地質	掘削工法の検討に当たっては、土地の安定性に十分に配慮する。	造成・掘削工事時 実施済み			—
	2	計画・設計時の配慮	地形・地質	施設計画において、安定計算の実施、マニュアル等に基づく適切な設計、浸食防止排水溝の設置等を行う。	計画時実施済み			—
	3		地形・地質	切土工事に際し、仮排水路への排水ができるようにし、沈砂池に集水して濁水の土砂を沈殿させてから放水する。	計画時実施済み			—
	4		触れ合い活動の場	パラダの営業期間中の工事については、事業者と十分な協議を行い、スキー客への影響が極力小さくなるよう配慮する。	○	○	○	参考資料1(非公開)
	5	広範囲の裸地化の抑制	水質	段階的な切盛り工事の実施などの工事計画の検討により一時的な広範囲の裸地化を抑制する。	計画時実施済み			—
	6	工事区域外からの流入抑制	水質	工事区域の外周に仮設の雨水排水路を設置し、工事区域外からの雨水の流入を抑制し、濁水の発生量を低減する。	○	○	—	写真20
	7	造成工事の休止	水質	台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成工事を行わない。	造成工事時 実施済み			—
	8	造成面等からの濁水発生対策	水質	台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成面、仮置き残土等へのシート、土嚢による養生等の対策を講じる。	造成・掘削工事時 実施済み			—
	9	沈砂池等の設置、維持管理	水質	十分な貯留容量を有する沈砂池を設置し、雨水を一時的に貯留し濁水の土砂を沈殿させてから放流する。	造成・掘削工事時 実施済み			—
10	雨水排水の濁りの監視	水質	降雨時には速やかに雨水排水の濁りの状況を目視により確認し、濁りが認められた場合には濁水を沈降させ、上澄みを放流する。	造成・掘削工事時 実施済み			—	
11	雨水排水の水温の監視	水質、植物、動物、生態系	排水温度の変化に伴う動植物への影響の可能性の観点から、放流水の水温について監視する。	—	—	—	—	

※実施状況欄 ○：実施 —：実施不要のため未実施

調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類	
			7月	8月	9月		
土地造成、掘削、樹木の伐採	12	揚水量を低減する掘削工法等の検討	水象	揚水量を低減する効果的な掘削工法等を検討する。	計画時実施済み	—	
	13	止水壁等の設置による水位低下の防止	水象	止水壁を透水性の低い層まで設置する等により地下水水位低下の防止を図る。	計画時実施済み	—	
	14	コナラ林の改変の回避	生態系	対象事業実施区域南側のコナラ林の改変を回避する。	計画時実施済み	—	
	15	対象事業実施区域境界の林縁保護	植物、動物、生態系	対象事業実施区域境界に適宜防風ネットや遮光ネット等を設置することで、樹木の保全を図る。	—	—	
	16	対象事業実施区域周辺で営巣が確認された場合の工期変更等	動物、生態系	対象事業実施区域の近隣で希少猛禽類の営巣が確認された場合には、工事時期や手順、監視等について検討を行う。	—	—	
	17	工事関係者への啓発(動植物等)	植物、動物、生態系	工事関係者及び作業員に対して、対象事業実施区域外への不意な立ち入りや工事用車両の空ぶかしや急発進等による騒音の発生抑制などの指導を行う。	○	○	写真21 参考資料1(非公開)
	1	中和処理	水質	アルカリ排水について、環境基準内(pH8.5以下)に中和処理を行った後排水する。	—	—	—
舗装工事・コンクリート工事	2	水素イオン濃度の監視	水質	コンクリート工事に伴うアルカリ排水について、pH計を用いてpHの監視を行う。	—	—	—
	1	建設発生土の再利用	廃棄物等	掘削土砂については本事業の敷地内や他事業での再利用に努め、残土の発生を抑制する。	造成・掘削工事時 実施済み	—	
	2	公共事業等での有効利用	廃棄物等	場外搬出する残土については、他の公共事業での有効活用を図り、処分量の低減を図る(受け入れ先は組合で決定)。	造成・掘削工事時 実施済み	—	
	3	アスファルト・コンクリート塊、木くず、伐採木等の再生利用	廃棄物等	再利用の促進を図るため、アスファルト・コンクリート塊、木くず・伐採木等は可能な限り資源として再生利用する。	造成・掘削工事時 実施済み	—	
	4	現場での分別排出	廃棄物等	発生した廃棄物については、可能な限り現場で分別を行い排出する。	○	○	写真22
5	適正な管理(土壌)	廃棄物等	自然由来により残土が汚染されている場合もあることから、処分方法に応じた適切な搬出の管理を行う。	計画時実施済み	—	—	

※実施状況欄 ○:実施 —:実施不要のため未実施



写真1

工事関係車両の走行  
 No.1  
 走行時間の分散  
 No.2  
 交通規制等の遵守  
 No.3  
 アイドリングストップ・エコドライブの励行  
 No.8  
 北パラダを利用する  
 一般車両への配慮

撮影日 2020/7/9



写真2

工事関係車両の走行  
 No.5  
 工事用車両出入り口の  
 路面洗浄等

撮影日 2020/7/13



写真3

工事関係車両の走行  
 No.6  
 土砂搬出車両荷台の  
 シート掛け

撮影日 2020/7/2

	<p style="text-align: center;">写真4</p> <p>工事関係車両の走行 No.7 交通整理員の配置</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/7/2</p>
	<p style="text-align: center;">写真5</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型)</p> <p>コンバインドローラー 4t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/7/14</p>
	<p style="text-align: center;">写真6</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>バックホー(0.09m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/8/17</p>

	<p style="text-align: center;">写真7</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、 低振動型)</p> <p>バックホ-(0.1m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/9/7</p>
	<p style="text-align: center;">写真8</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、 低振動型)</p> <p>バックホ-(0.12m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/8/17</p>
	<p style="text-align: center;">写真9</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、 低振動型)</p> <p>バックホ-(0.16m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/9/7</p>

	<p style="text-align: center;">写真10</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型 、低振動型)</p> <p>バックホー(0.2m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/7/14</p>
	<p style="text-align: center;">写真11</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型 、低振動型)</p> <p>バックホー(0.45m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/7/2</p>
	<p style="text-align: center;">写真12</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型 、低振動型)</p> <p>フィニッシャー(2.8m)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/7/14</p>

	<p style="text-align: center;">写真13</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>マカダムローラー(9t)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/7/14</p>
	<p style="text-align: center;">写真14</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>ラフタークレーン 25t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/7/10</p>
	<p style="text-align: center;">写真15</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>ラフタークレーン 50t</p> <p>※赤丸は対策型を証明するステッカーの位置を示す。</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/8/17</p>

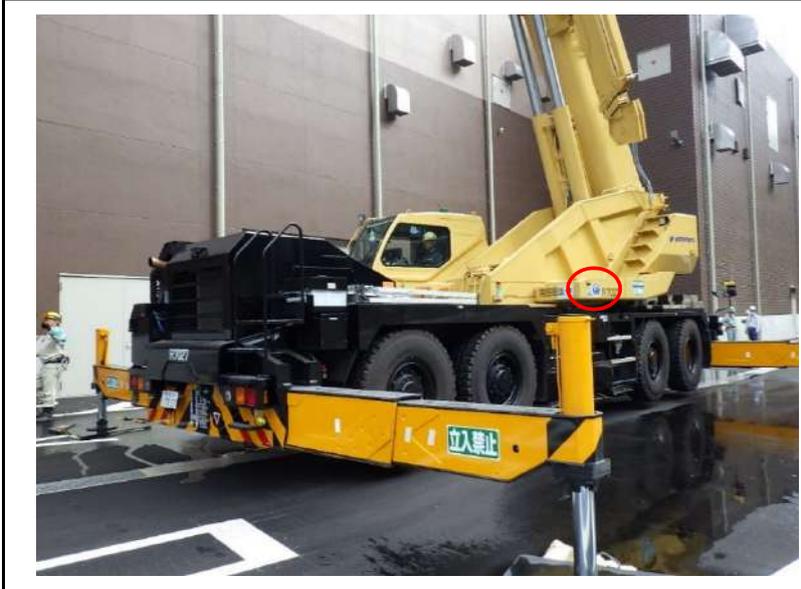


写真16

建設機械の稼働  
No.1  
対策型建設機械の使用  
(排ガス対策型、低騒音型  
、低振動型)

ラフタークレーン 70t

※赤丸は対策型を証明するステッカー  
の位置を示す。

撮影日 2020/8/17



写真17

建設機械の稼働  
No.2  
建設機械稼働時間の抑制  
No.3  
建設機械稼働時間の分散

撮影日 2020/8/4



写真18

建設機械の稼働  
No.4  
工事区域の仮囲い  
・遮音壁の設置

撮影日 2020/7/2

	<p style="text-align: center;">写真19</p> <p>建設機械の稼働 No.5 工事区域への散水等</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/7/13</p>
	<p style="text-align: center;">写真20</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.6 工事区域外からの流入抑制</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/7/30</p>
	<p style="text-align: center;">写真21</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.17 工事関係者への啓発 (動植物等)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/9/28</p>



写真22

発生土、建設廃棄物、伐採木

No.4

現場での分別排出

撮影日 2020/7/4